

地域連携だより

病院の理念

4つの心

人権尊重の心
向上心

人間愛の心
奉仕の心

病院の基本方針

- 常に医療水準のアップに努め、安全・安心・信頼を要とした医療を提供する。
- 地域の医療福祉機関との連携を密にし、地域における中核病院としての使命・役割を分担する。
- 人権の尊重と人間愛を基本とした医療を行うと共に、社会保険病院としての使命に基づき、地域住民の健康・福祉に寄与する。
- 患者様・受診者様のニーズに応えた病院サービスを提供する。

目次

新たな連携を目指して 病院長 田代雅彦	1
新任部長紹介 外科 福地 稔	2
診療科紹介 整形外科 副院長兼整形外科主任部長 寺内正紀	3
患者支援室からのお知らせ 患者支援室室長 草間敏子	4
地域連携・総合企画センターからの報告	5
今後のカンファレンス・講演会予定	5

新たな連携を目指して

社会保険群馬中央総合病院院長 田代雅彦

昨年度は大変お世話になりました。

昨年度、当院ではリハビリセンターを改装しました。大変きれいになったリハビリセンターで、患者さんにとっては、つらいリハビリもすがすがしい気持ちで行っていただければと思っています。また、介護老人福祉施設サンビューぐんまも通所部門を改築し、きれいにリニューアルしたともにご利用しやすくなりました。

さらに今4月からは、災害拠点病院として認定を受けることが出来ました。東日本大震災の報道などもありますが、支援に出かけた当院のスタッフも、強くその必要性を感じて帰ってきており、その結果と思っています。今後さらに、地域に役立つ病院となるよう努めていきたいと思っています。

新年度にあたり、あらためて当院の目指すところを考えてみました。医療界の進む方向は、今回の診療報酬改定においては、チーム医療、そして更なる地域連携に向いているように思います。当院における地域連携としては、胃ろうネットワークなどを行っています。また、以前より感染部門にも力を入れています。感染対策室を独立させており、専従職員が2名います。またICD、ICN、薬剤師、検査技師など、多職種の人材から構成されたチーム医療を行っています。地域連携という面からも、地域の先生方のお役に立てるものと思っています。

患者さんには高度の医療技術、最新の検査器機なども大切ですが（もちろん当院でも十分に準備を行っておりますが）、人と人との連携、チーム医療への取り組みもより必要な時代になったと思っています。時代のニーズに合った、また病院にあった取り組みをこれからも続けていき、患者さんに暖かい医療や看護を提供できる病院を目指してがんばって行く所存です。今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。



新任部長紹介 外科 福地 稔

私は平成19年4月から消化器外科、主に食道外科を専門として診療させていただいております。食道外科として手術対象となるのはほとんどが食道癌であります。が、良性疾患（食道裂孔ヘルニア、食道炎および食道良性腫瘍等）も積極的に治療をさせていただいております。食道癌の手術患者さんは初年度に比べ症例数は年々増加し、現在では年間10例前後でございます。他の市中病院と比較するとまずまずかと思えます。



皆様をご存知の通り、食道癌は他の消化器癌と比べ悪性度が高く早い時期にリンパ転移をきたす疾患であり、根治手術は頸部・胸部・腹部の3領域リンパ節郭清を伴った胸部食道全摘術であります。手術手技や周術期管理が向上したとはいえ、消化器外科の中では最も侵襲性の高い手術であるために術後合併症は高率であります。当科では手術室、集中治療室、一般病棟等のスタッフの協力により、現在までに大きな術後合併症はきたしていないのは幸いです。また、食道癌の手術患者さんの5年生存率は全国平均で50%ほどまでに向上しており、当科でも同様の成績ですがいまだ十分とは言えません。そのために、進行度に応じて術前後の化学療法を併用し、癌再発の防止にも努めております。当科での食道癌の治療内容は日本食道学会にご報告させていただき、そのホームページで一般公開させていただいております。

最近では内視鏡的診断技術の向上に伴い、当科でも表在型食道癌の発見率が上昇しております。そのため、内視鏡的治療・鏡視下手術・縮小手術（頸部郭清を省略）および標準術式から最も適切な治療を選択していきたいと思っています。さらに、生活の欧米化に伴い、食道胃接合部癌が増加傾向にあります。接合部癌に関しても食道外科がお役に立てる範疇かと思っております。

今後、食道癌の治療に際して根治性と侵襲性の2面性を十分考慮し、患者さんの病態に合った治療を目指していきたいと思っておりますので、皆様のご協力、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

平成24年度 外科常勤スタッフの紹介

内藤	浩	ないとう ひろし	昭和61年卒	医務局長兼主任部長
福地	稔	ふくち みのる	平成4年卒	部長
桐山	真典	きりやま しんすけ	平成11年卒	医長
深澤	孝晴	ふかさわ たかはる	平成12年卒	医長
田部	雄一	たべ ゆういち	平成14年卒	医長
山内	逸人	やまうち はやと	平成15年卒	医員
鈴木	雅貴	すずき まさき	平成19年卒	医員
吉田	知典	よしだ とものり	平成22年卒	医員

診療科紹介 整形外科 副院長兼整形外科主任部長 寺内正紀

変形性膝関節症に対する人工関節手術 —全置換術と単顆置換術—

高齢化社会に伴い膝痛で悩む患者さんが増加しています。膝関節は股関節と足関節の中央に存在し、人体中で最大の荷重関節です。それだけに加齢とともに変性しやすく膝痛を訴える頻度が増します。代表的な疾患に変形性膝関節症があります。変形性膝関節症は関節軟骨を中心とした関節構成体が徐々に退行性変性を来し、疼痛、腫脹、変形が生じる疾患です。日本人の場合は内側を中心に変性が進みO脚を呈する内側型のものがほとんどです。近年、変形性膝関節症に対する手術の進歩はめざましく、人工膝関節置換術は年々増加しています。変形性膝関節症は急激に進行する疾患ではないのでまず保存療法を十分に行います。変形が進み、日常生活にも支障が生じると手術療法が必要となります。

以前は矯正骨切り術が行われることがありましたが、手術の煩雑さ、不確実性、長期の入院が必要であること、前述のように手術手技の進歩により、現在は人工膝関節置換術が主流となっています。人工関節置換術は破壊された関節の機能を再獲得するための手術で、金属、ポリエチレンなどで関節面を置換します。現在、主に行われているのはすべてのコンパートメントを置換する人工膝関節全置換術（Total knee arthroplasty: TKA）です。これに対し変性した単顆（ほとんど内顆です）のみ置換する人工膝単顆置換術（Unicompartmental knee arthroplasty: UKA）も増加しつつあります。

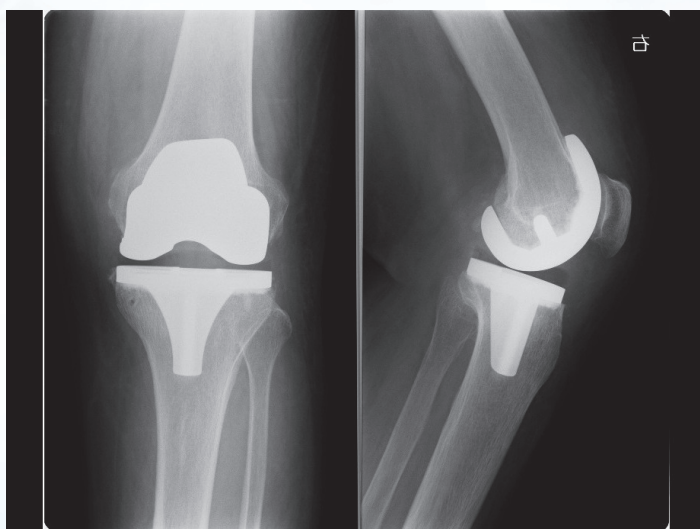


図1. TKA

TKA（図.1）はより高度な変形膝に対して施行します。約20cmの皮切を置き、膝蓋骨を反転して関節を大きく展開します。前十字靱帯も切除します。内外側の靱帯バランスが崩れていることが多く、このアンバランスを矯正することが重要です。術後2日から歩行を開始し、3～4週で退院となります。術前から可動域制限がある例が多く、当科での術後平均屈曲は120°です。UKA（図.2）は対側（外側）のコンパートメントが

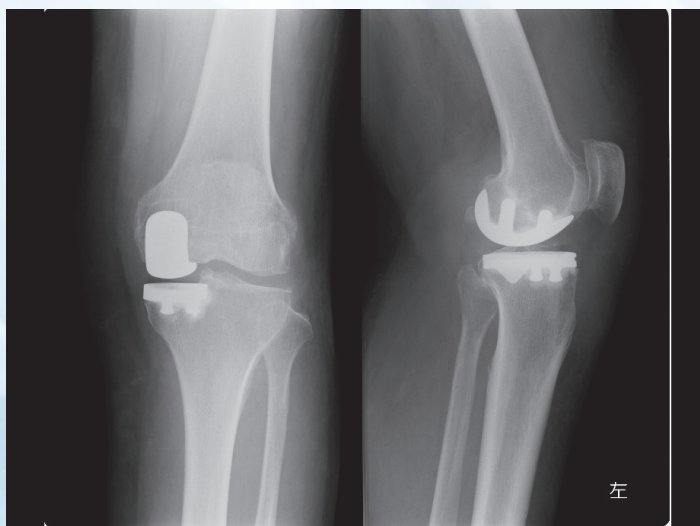


図2. UKA

保たれていることが必要です。約10cmの皮切を置き、膝蓋骨を反転せずに関節を展開します。骨切り量が少なく、前十字靱帯も温存できることから術後も本来の膝運動を維持することができます。後療法はTKAとほぼ同じですが、140°程度の屈曲が期待できます。術前MRIで外側コンパートメントや前十字靱帯が保たれていることを確認し、外反ストレス撮影で外反位に矯正できる例で適応となります。

当科では昨年度TKA132例、UKA26例施行し満足な結果を得ていて、高齢者のQOL向上に役立っています。

平成24年度 整形外科常勤スタッフの紹介

寺内	正紀	てらうち まさのり	昭和59年卒	副院長兼主任部長
堤	智史	つつみ さとし	平成3年卒	部長
中川	由美	なかがわ ゆみ	平成7年卒	医長
関	隆致	せき たかゆき	平成12年卒	医長
萩原	敬一	はぎわら けいいち	平成12年卒	医長
面高	拓矢	おもだか たくや	平成21年卒	医員

患者支援室からのお知らせ

患者支援室室長 草間敏子

平成23年10月より地域連携・総合企画センターの1部門として看護支援室が発足し、主に前方支援を行ってまいりましたが、4月より体制を強化し患者支援室となりました。患者さんの受け入れから在宅推進のための後方支援までの業務を行ってまいります。

主な活動は、介護保険の利用についての説明・介護支援専門員と在宅調整・回復期リハビリ病院や介護保険施設等への転院・転所を

行っています。4月には地域の開業医の先生、介護支援専門員、薬局、訪問看護ステーションなどの方々の協力を得て、退院時共同指導を4回行いました。

患者支援室は患者さんが在宅で生活できるように支援をする部署ですので、入院生活や通院の不安や心配を軽減できるように患者さんの目線に合わせて傾聴していきたいと思っております。

私どもは、笑顔でスピーディーに対応・そして広いネットワークづくりを目標に活動してまいります。まだまだ未熟な部署ですが、地域のご協力を得て、患者さんや開業医の先生方の良きパートナーになれるよう努力してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



退院時共同指導風景

地域連携・総合企画センターからの報告

平成24年2月23日（木） がん地域連携パス説明会

「群馬県がん診療連携推進病院」として医療機関との診療連携推進を目的とした「がん地域連携パス説明会」を開催しました。連携機関より37名の参加をいただきました。



平成24年3月10日（土）

市民健康医学講座「不妊治療について」

伊藤理廣産婦人科主任部長と岡崎友香外来科長が、一般の方を対象に不妊治療の基礎から現在の治療法について講演会を行い、118名の参加をいただきました。



平成24年4月17日（火） 感染対策地域連携カンファレンス（第1回）

感染防止対策加算1算定病院（当院）と感染防止対策加算2算定病院（6病院）が参加し、合同カンファレンスを開催しました。

平成24年4月19日（木） 薬・薬連携講演会

内藤浩外科主任部長が、薬剤師の方を対象に消化器がんの化学療法をテーマに講演会を行い、90名の参加をいただきました。



今後のカンファレンス・講演会予定（平成24年4月30日現在）

- | | |
|----------|---|
| 5月15日（火） | 地域連携カンファレンス「在宅医療」日本医師会生涯教育講座1単位 |
| 6月19日（火） | 地域連携カンファレンス「骨粗鬆症の診断と治療」（担当科：産婦人科）
骨粗鬆症による椎体圧迫骨折・為関節に対する経皮的椎体形成術（骨セメント注入）について
日本医師会生涯教育講座1単位 |
| 6月21日（木） | 感染対策地域連携カンファレンス（第2回） |
| 6月21日（木） | 地域連携学術講演会 「抗菌薬の適正使用」日本医師会生涯教育講座1単位 |
| 7月17日（火） | 地域連携カンファレンス（担当科：外科） |
| 8月22日（水） | 登録医大会（会場、アニバーサリーコートラシーネ） |
| 9月18日（火） | 地域連携カンファレンス（担当科：内科） |

外来診療担当医一覧表

【平成24年5月7日現在】

科	曜	月	火	水	木	金
内科	午前	北原 村上 羽鳥 長谷川	羽鳥 阿久澤 関 葉山	北原 村上 戸塚 原田	北原 今井 戸塚	予・今井(循環器) 阿久澤 奥 関
	午後 (予約)	今井(循環器) 戸塚(循環器) 阿久澤(循環器)	北原(循環器) 奥(循環器)	関(循環器) 今井(糖尿病)	伊藤(循環器) 村上(循環器) 岩崎(呼吸器)	北原(循環器) 羽鳥(循環器) 大山(良)(糖尿病)
和漢診療科	午前	小暮	小暮 原田	小暮 巽	小暮 葉山	小暮
	午後	小暮		小暮(リウマチ)	小暮	
神経内科	午前	予・大沢				
	午後	予・大沢			予・長嶺	
小児科	午前	田代 鈴木 予・須永(神経発達)	須永 池内	田代 須永	田代 須永 予・水野(アレルギー)	須永 予・水野(アレルギー)
	午後 (予約)	須永(神経発達) 水野(アレルギー) 林(専門)	小笠原(乳児検診) 神田(乳児検診) 池内(専門)	田代(心臓) 須永(神経発達)	田代(心臓)／ 篠原(第3週) 吉澤(腎臓) 池内(専門)	須永(神経発達) 釜薙(神経発達) 水野(アレルギー) 林(専門)
外科	午前	内藤 深澤 吉田	内藤 田部 鈴木 桐山(特殊)内視鏡外来	福地 山内 吉田	内藤 鈴木 深澤(特殊)甲状腺乳腺 山内(特殊)甲状腺乳腺	福地 桐山 田部(内藤) (特殊)大腸・肛門
	午後				茂木(呼吸器)	
消化器科	午前	堀内／湯浅(隔週) (特殊)肝臓		堀内	山田 (特殊)大腸	湯浅
皮膚科			午前 予・田村			午後 予・永井
泌尿器科				午前 羽鳥(第2・4週)		
整形外科	午前	寺内(膝) 堤(脊椎) 中川(脊椎) 関(脊椎)	寺内(膝) 関(脊椎) 萩原(膝) 面高	中川(脊椎) 萩原(膝) 面高	堤(脊椎) 中川(脊椎) 関(脊椎) 面高	寺内(膝) 堤(脊椎) 萩原(膝) 畑山(膝)
		※膝・脊椎の記載について・・・整形外科は一般外来として診察を行なっています。紹介患者さまについては殆どの方が専門的治療が必要な状態と考えられます。混乱を避けるために専門分野の記載をしています。				
産婦人科	午前	伊藤(一般) 日下田(一般) 勝俣(妊婦健診)	勝俣(一般) 田村(一般) 安部(妊婦健診)	太田(一般) 栗原(一般) 伊藤(妊婦健診)	栗原(一般) 伊藤(不妊外来) 太田(妊婦健診)	伊藤(一般) 安部(一般) 栗原(妊婦健診)
	午後 (予約)	太田(手術後・検査) 栗原(妊婦健診) 助産師外来	手術	伊藤(手術予約) 勝俣(産後外来) 助産師外来	安部(手術後・検査) 篠崎(ハイリスク妊婦) 検査 助産師外来	太田(手術後・検査) 日下田(妊娠健診) 助産師外来
眼科	午前	前嶋	前嶋 群大	前嶋 群大	前嶋	群大
耳鼻咽喉科	午前	塚田 内山	塚田 内山	塚田 内山	塚田 内山	塚田 内山
	午後	塚田 内山	予・内山(嚥下外来) 予・竹越 手術	予・内山	手術	予・内山(嚥下外来) 手術
麻酔科	午前	高橋	原	富岡	高橋	原
ペイン	午前				小幡(第2・4週)	
歯科	午前	平林	平林	平林	平林	平林
	午後					

※午後の外来は基本的に予約患者のみとなっています。

※整形外科の木曜日の専門は、脊椎のみとなっています。

社会保険 群馬中央総合病院

〒371-0025

前橋市紅雲町1丁目7番地13号

TEL.027-221-8165 FAX.027-224-1415

診察、検査の予約は地域医療連携課へ

TEL. 027-223-1373(直通)

FAX. 027-223-1374(直通)

